

雨もまた楽し!



天気予報は台風接近中で午前中はくもり。迷いましたが、決行に決定し8時前に中止連絡はしませんでした。家を出る頃には、ポツリポツリ。駐車場に、皆さんが集まると、やる気! やる気! 霧雨レベルの中を午前中目標で南コースを池まで往復しました。駐車場に戻ったのが12時半。せっかくお弁当を持ってきたのだからと駐車場四阿でお弁当を広げる集団も。

黄色いソックスを履いてる!



(井村) 黄色いソックスをはいている甲虫は? ジョウカイボン。

トラガ



(井村) ウツギの花にトラガ。

虫こぶ! 虫こぶ!



ナラメリンゴフシ
ナラメリンゴタマバチの虫えい。(今回)



ナラメイガフシ
ナラメイガタマバチ虫えい (以前の観察会で見ました)

花が見れた



ノイバラ(写真:米光)



サワギク(写真:写真:米光)



フタリシズカ(写真:米光)
↑
(井村) 花穂が3本、4本のも
のがありました。



ガマズミ(写真:小林(喜))



ウツギ (写真:小林(喜))
その他、モミジイチゴ、ムラサキケマン

もうすぐ花が見れそう



ナワシロイチゴ(つぼみ) (写真:米光)

これは? (井村)

駐車場の頂上側道路脇に見かけました。
ツルマンネグサ(蔓万年草)
ベンケイソウ科マンネグサ属 多年草
中国、朝鮮半島が原産で、日本にも帰化植物として定着しているそうで、農家の庭先、道路脇石垣などに繁殖している植物です。



6月の月例観察会のその後

ナワシロイチゴ 6.27
スイカズラ 6.27
コアジサイ 6.27
ガマズミ 6.27
ドクダミ 7.6
マタタビ 7.6
ヤマアジサイ 7.6
クサフジ 7.6
イチヤクソウ 7.6



サラサウツギ 7.6
10日の観察会まで持ちますように！



ウメガサソウ 7.6
花弁が天使の羽の様？
10日の観察会でご自分の眼で！

これは何？ その後 (井村)



ヒメザゼンソウの可能性大
葉が枯れる頃に根元に2cmの花が咲くはず。

- 6.27 葉が枯れ始め、根元に緑の芽が出始めました。
7.3 ザゼンソウと同じ形の緑の苞が立ちました。1円玉と同じくらいです。写真は添付しません。
7月10日のお楽しみです！
7.6 暗紫色になりません。

<調べた結果>

緑の苞が立つヒメザゼンソウはミドリヒメザゼンソウだそうです。

ザゼンソウは、

- ・フイリザゼンソウ:葉に斑が入っている。
- ・アオザゼンソウ:苞が緑色や黄緑がかった白色をしている。

があり、ヒメザゼンソウも

- ・フイリヒメザゼンソウ:葉に斑が入っている。
- ・ミドリヒメザゼンソウ:苞が緑色をしている。

これは？→イチヤクソウのようです。

<根拠>額裂片が披針形でとがり、長さは幅の2~3倍



7.6

池の魚は？



(井村)大分前に捕獲し、撮った写真を長野県水産試験場諏訪支場で調べて頂きました。

<結果>

おそらくニゴイ(未成魚、こども)であろう。

ニゴイは、本州から九州にかけて広く分布するコイ科の淡水魚で、諏訪湖とその周辺の川にも生息している。

一対のひげをもっており、姿かたちもコイに似ることから、その名がついたと言われます。ひげがあればニゴイに断定できるのですが、写真では判別できないとのことなので、またの機会に確認してみます。

オオムラサキ物語 続編 (井村)

(お詫び)前号のオオムラサキ物語の筆者は馬場さんでした。ごめんなさい。



6.6 幼虫発見

さなぎになっているとしたら、どんな形でしょう？



インターネットで検索してみると、左写真のような形をしているそうです。

もう、羽化しているとしたら、花の蜜ではなく、栄養価の高い樹液を吸いに来ます。スズメバチやカブトムシを蹴散らして樹液を独占するという、気の強い蝶だそうです。クヌギ、コナラ、ニレ、クワ、ヤナギなどの樹液に集まったり、グリ、クサギなどの花で吸蜜するといいますが、樹皮に注目です。